



2027年2月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（非連結）

2026年7月15日

上場会社名 ベースフード株式会社 上場取引所 東
コード番号 2936 URL <https://basefood.co.jp/ir/>
代表者 （役職名）代表取締役CEO （氏名）橋本 舜
問合せ先責任者 （役職名）執行役員C00 （氏名）川南 圭一郎 TEL 03 (6416) 8905
配当支払開始予定日 —
決算補足説明資料作成の有無：有
決算説明会開催の有無：有（機関投資家、アナリスト、個人投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2027年2月期第1四半期の業績（2026年3月1日～2026年5月31日）

（1）経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年2月期第1四半期	3,976	0.8	△180	—	△183	—	△226	—
2026年2月期第1四半期	3,945	7.7	△79	—	△80	—	△99	—

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2027年2月期第1四半期	△4.24	—
2026年2月期第1四半期	△1.88	—

（注）潜在株式調整後1株当たり四半期純利益については、潜在株式は存在するものの、1株当たり四半期純損失であるため、記載しておりません。

（2）財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2027年2月期第1四半期	4,408	1,138	25.6
2026年2月期	4,013	1,355	33.8

（参考）自己資本 2027年2月期第1四半期 1,129百万円 2026年2月期 1,355百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年2月期	—	0.00	—	0.00	0.00
2027年2月期	—				
2027年2月期（予想）		0.00	—	0.00	0.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年2月期の業績予想（2026年3月1日～2027年2月28日）

（％表示は対前期増減率）

	売上高		営業利益	
	百万円	%	百万円	%
通期	16,256	7.0	62	△71.4

（注）1. 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

2. 2027年2月期の業績予想については、「売上高」と「営業利益」のみ開示しております。

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更：無
- ② ①以外の会計方針の変更：無
- ③ 会計上の見積りの変更：無
- ④ 修正再表示：無

(3) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2027年2月期1Q	54,752,100株	2026年2月期	54,752,100株
② 期末自己株式数	2027年2月期1Q	1,358,035株	2026年2月期	1,358,035株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2027年2月期1Q	53,394,065株	2026年2月期1Q	53,177,972株

※ 添付される四半期財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

（将来に関する記述等についてのご注意）

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料P.3「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

（決算補足説明資料の入手方法）

当社は、2026年7月15日に機関投資家、アナリスト向けの会社説明会を開催する予定です。この説明会で使用する資料については、TDnetで開示するとともに、当社ウェブページに掲載いたします。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	5
(3) 四半期財務諸表に関する注記事項	6
(継続企業の前提に関する注記)	6
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	6
(四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記)	6
(セグメント情報等の注記)	7

1. 当四半期決算に関する定性的情報

（1）経営成績に関する説明

当社は、「主食をイノベーションし、健康をあたりまえに。」というミッションを掲げ、「栄養のインフラ」としてのBASE FOOD®を目指しております。

ミッションの実現に向け、研究開発活動を通じて完全栄養（注1）の主食を中心としたBASE FOOD®シリーズの開発および改善を行い、それらを主に3つのチャネル（卸などを介さず顧客に直接販売を行う「自社EC」、他社ECプラットフォームでの販売を行う「他社EC」、コンビニエンスストアやドラッグストアなどで販売を行う「卸販売」）で販売しております。積極的な研究開発活動を通じて商品の美味しさを追求し、新商品のリリースや商品リニューアルを通じて顧客層の拡大や継続率の向上を図り、成長を遂げてまいります。

当第1四半期においては、主力商品である「BASE BREAD チョコレート」、ならびに「BASE YAKISOBA」シリーズ4種のリニューアルを行い、おいしさを向上させました。中でも「BASE BREAD チョコレート」は当社のラインナップにおいて人気No. 1の商品であり、リニューアルに合わせてテレビCMの放映等の各種販促施策を進めた結果、売上高は好調に推移しました。このような取り組みにより、「かんたん・おいしい・からだにいい」食事のラインナップおよびクオリティを高め、より豊かな食体験の機会を提供することで、「健康をあたりまえに」の実現を加速させるR&D活動を進めております。

全体としては、4月の「BASE BREAD チョコレート」のリニューアルを起点としたテレビCMの放映や、過去の解約層を対象としたアウトバウンドコールや自社ECと卸販売のOMO（Online Merges with Offline）を活用した復帰誘導施策など、多角的な施策が奏功し、前年同月比の成長率は右肩上がりに推移し、5月度単月においては前年同月比で7.4%増と通期計画に対して順調なスタートを切りました。利益面においては、前期は広告市況の変化に伴い投資を抑制しておりましたが、今期は広告効率を改善しながら、新規顧客を好調に獲得できたため、広告投資を強化しました。その結果、営業損失は前年同期比で拡大いたしました。期初計画通りとなっております。

自社ECにおいては、「BASE BREAD チョコレート」のリニューアルに連動した施策や、解約層向けの復帰誘導施策等が奏功し、売上高は2,660,577千円（前年同期比1.2%増）となりました。サブスクリプション会員数は25.6万人に拡大し、継続率とLTV（顧客生涯価値）は高水準を維持するなど、今後の業績拡大に向けた基盤が強固なものとなりました。

	2026年2月期 第1四半期	2026年2月期 第2四半期	2026年2月期 第3四半期	2026年2月期 第4四半期	2027年2月期 第1四半期
サブスクリプション 会員数の推移（万人） （注2）	23.2	22.9	23.2	23.5	25.6

（注2）各四半期末時点

卸販売においては、4月以降のBASE BREAD「チョコレート」のリニューアルやテレビCMの放映に合わせた店頭販促物の導入、おいしさ改善の認知拡大を目的としたトライアル購入の促進施策等が奏功いたしました。3月の実績が影響し、売上高は950,403千円（前年同期比5.4%減）となりました。リニューアル以降については、主力のコンビニエンスストアチャネルの週販実績が向上した他、展開店舗数および店舗あたりの売上高も好調に推移しました。

	2026年2月期 第1四半期	2026年2月期 第2四半期	2026年2月期 第3四半期	2026年2月期 第4四半期	2027年2月期 第1四半期
展開店舗数の推移（店舗） （注3）	50,113	49,098	49,500	47,499	48,890
店舗あたり売上高（注4）	6,590	6,400	6,810	6,712	6,772

（注3）各四半期末時点

（注4）当該四半期の平均。1店舗あたりの月間売上 = リテールチャネル（卸販売）全体の月間売上/展開店舗数

他社ECにおいては、各商品カテゴリにおいてランキング上位を獲得するなど、堅調に推移した結果、売上高は320,976千円（前年同期比29.1%増）と大幅な増収を達成いたしました。

海外事業においては第2四半期中に予定している中国での販売開始に向けた準備に注力いたしました。戦略的に広告出稿を抑制した結果、売上高は38,092千円（前年同期比30.2%減）となりました。

以上の結果、当第1四半期累計期間の売上高は3,976,500千円（前年同期比0.8%増）、営業損失は180,810千円（前年同期の営業損失は79,295千円）、経常損失は183,183千円（前年同期の経常損失は80,296千円）、四半期純

損失は226,239千円（前年同期の四半期純損失は99,971千円）となりました。

なお、当社の報告セグメントにおける「完全栄養食事業」の比率が極めて高く、上記の事業全体に係る記載内容と概ね同一と考えられるため、セグメントごとの記載は省略しております。

（注1）1食分（BASE BREADは2袋、BASE Cookiesは4袋、BASE YAKISOBAは2個、BASE FOOD Deliは1袋、BASE Pancake Mixは1袋と卵Mサイズ1つ、牛乳（成分無調整）100mlを使用して調理した場合）で、栄養素等表示基準値に基づき、脂質・飽和脂肪酸・炭水化物・ナトリウム以外のすべての栄養素で1日分の基準値の1/3以上を含む

（2）財政状態に関する説明

（資産）

当第1四半期会計期間末における総資産は4,408,379千円となり、前事業年度末と比較して394,793千円の増加となりました。これは主に、新商品のリリースに伴うTVCM制作およびキャスティング費用等の発生により前払費用が168,861千円増加したほか、昨年移転したラボの新拠点工事完了に伴い、建物附属設備等の取得により有形固定資産が205,871千円増加したことによるものであります。

（負債）

当第1四半期会計期間末における負債は3,270,266千円となり、前事業年度末に比べ612,227千円の増加となりました。これは主に、TVCM制作をはじめとした広告宣伝費等に係る未払金が479,673千円増加したほか、ラボの新拠点工事に伴い将来の除却見込費用として資産除去債務を81,715千円計上したことによるものであります。

（純資産）

当第1四半期会計期間末における純資産は1,138,112千円となり、前事業年度末に比べ217,434千円減少いたしました。これは主に、四半期純損失の計上により利益剰余金が226,239千円減少したことによるものです。

（3）業績予想などの将来予測情報に関する説明

2026年4月14日に「2026年2月期 決算短信」で発表いたしました通期の業績予想に変更はありません。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：千円)

	前事業年度 (2026年2月28日)	当第1四半期会計期間 (2026年5月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	1,886,902	1,824,917
売掛金	777,609	789,324
商品	173,103	246,718
原材料及び貯蔵品	27,330	52,816
未収入金	245,115	219,077
前払費用	105,025	273,887
その他	15,921	45,482
流動資産合計	3,231,008	3,452,223
固定資産		
有形固定資産	297,885	503,757
無形固定資産	10,721	11,747
投資その他の資産	473,969	440,650
固定資産合計	782,576	956,155
資産合計	4,013,585	4,408,379
負債の部		
流動負債		
買掛金	504,580	666,737
短期借入金	400,000	400,000
1年内返済予定の長期借入金	152,768	166,656
未払金	800,915	1,280,589
リース債務	1,420	1,430
未払費用	129,181	132,596
未払法人税等	3,281	5,638
預り金	51,089	53,973
賞与引当金	53,710	—
ポイント引当金	11,947	13,031
契約負債	420,356	394,501
資産除去債務	—	14,791
その他	8,081	8,304
流動負債合計	2,537,333	3,138,250
固定負債		
長期借入金	83,360	27,808
リース債務	4,099	3,739
資産除去債務	33,245	100,468
固定負債合計	120,705	132,015
負債合計	2,658,038	3,270,266
純資産の部		
株主資本		
資本金	38,199	38,199
資本剰余金	1,082,278	1,082,278
利益剰余金	262,372	36,133
自己株式	△27,585	△27,585
株主資本合計	1,355,265	1,129,026
新株予約権	281	9,086
純資産合計	1,355,547	1,138,112
負債純資産合計	4,013,585	4,408,379

（2）四半期損益計算書

（単位：千円）

	前第1四半期累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）	当第1四半期累計期間 （自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）
売上高	3,945,887	3,976,500
売上原価	1,712,076	1,730,789
売上総利益	2,233,810	2,245,710
販売費及び一般管理費	2,313,106	2,426,520
営業損失（△）	△79,295	△180,810
営業外収益		
受取利息	0	—
受取補填金	740	93
為替差益	1,063	—
補助金収入	1,603	91
その他	940	1,757
営業外収益合計	4,348	1,942
営業外費用		
支払利息	5,263	3,380
支払保証料	85	85
為替差損	—	633
その他	0	216
営業外費用合計	5,349	4,316
経常損失（△）	△80,296	△183,183
特別損失		
固定資産売却損	—	8,576
特別損失合計	—	8,576
税引前四半期純損失（△）	△80,296	△191,759
法人税、住民税及び事業税	3,302	1,811
法人税等調整額	16,373	32,668
法人税等合計	19,675	34,479
四半期純損失（△）	△99,971	△226,239

（3）四半期財務諸表に関する注記事項

（継続企業の前提に関する注記）

該当事項はありません。

（株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記）

該当事項はありません。

（四半期キャッシュ・フロー計算書に関する注記）

当第1四半期累計期間に係る四半期キャッシュ・フロー計算書は作成しておりません。なお、第1四半期累計期間に係る減価償却費（無形固定資産に係る償却費を含む。）は、次のとおりであります。

	前第1四半期累計期間 （自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）	当第1四半期累計期間 （自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）
減価償却費	15,107千円	29,390千円

（セグメント情報等の注記）

【セグメント情報】

I 前第1四半期累計期間（自 2025年3月1日 至 2025年5月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント	その他 （注1）	合計	調整額 （注3）	四半期 損益計算書 計上額 （注2）
	完全栄養食事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,937,165	8,721	3,945,887	—	3,945,887
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,937,165	8,721	3,945,887	—	3,945,887
セグメント利益又は損失 （△）	△52,363	2,229	△50,133	△29,161	△79,295

- （注） 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント利益又は損失（△）は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。
 3. 調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。

II 当第1四半期累計期間（自 2026年3月1日 至 2026年5月31日）

（単位：千円）

	報告セグメント	その他 （注1）	合計	調整額 （注3）	四半期 損益計算書 計上額 （注2）
	完全栄養食事業				
売上高					
外部顧客への売上高	3,970,500	6,000	3,976,500	—	3,976,500
セグメント間の内部売上高 又は振替高	—	—	—	—	—
計	3,970,500	6,000	3,976,500	—	3,976,500
セグメント損失（△）	△161,946	△2,089	△164,036	△16,773	△180,810

- （注） 1. 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであります。
 2. セグメント損失（△）は、四半期損益計算書の営業損失と一致しております。
 3. 調整額は、各セグメントに配分していない全社費用であります。全社費用は主に報告セグメントに帰属しない一般管理費になります。